

連立方程式

$$\begin{cases} \cos 2\alpha + \cos 2\beta = \frac{4}{15} & \dots\dots\dots ① \\ \cos \alpha \cos \beta = -\frac{2\sqrt{15}}{15} & \dots\dots\dots ② \end{cases}$$

を考える. ただし,  $0 \leq \alpha \leq \pi$ ,  $0 \leq \beta \leq \pi$  であり,  $\alpha < \beta$  かつ

$$|\cos \alpha| \geq |\cos \beta| \quad \dots\dots\dots ③$$

とする. このとき,  $\cos \alpha$  と  $\cos \beta$  の値を求めよう.

2倍角の公式を用いると, ①から

$$\cos^2 \alpha + \cos^2 \beta = \frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$$

が得られる. また, ②から,  $\cos^2 \alpha \cos^2 \beta = \frac{\boxed{\text{オ}}}{15}$  である.

したがって, 条件③を用いると

$$\cos^2 \alpha = \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}}, \quad \cos^2 \beta = \frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$$

である. よって, ②と条件  $0 \leq \alpha \leq \pi$ ,  $0 \leq \beta \leq \pi$ ,  $\alpha < \beta$  から

$$\cos \alpha = \frac{\boxed{\text{コ}} \sqrt{\boxed{\text{サ}}}}{\boxed{\text{シ}}}, \quad \cos \beta = \frac{\boxed{\text{ス}} \sqrt{\boxed{\text{セ}}}}{\boxed{\text{ソ}}}$$

である.

(17年 センター本試験 II・B 第1問 [1])

アイ	ウエ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
17	15	4	4	5	1	3	2	5	5	-	3	3

### 【チェック・チェック】

三角関数を含む連立方程式の問題で, 2倍角の公式を利用します. 誘導によって進んでいけば, 最後まで辿り着くでしょう.

途中, 式を平方する操作があるので, この後に得られる解は必要条件となります. 十分性を確認しなければなりません.

#### 【解答】

2倍角の公式を用いると

$$① \iff (2 \cos^2 \alpha - 1) + (2 \cos^2 \beta - 1) = \frac{4}{15}$$

$$\iff \cos^2 \alpha + \cos^2 \beta = \frac{\boxed{17}}{\boxed{15}} \quad \dots\dots (\text{アイ, ウエの答})$$

が得られる.

← 2倍角の公式  
チェクリビ 139

また、②から

$$\cos^2 \alpha \cos^2 \beta = \left(-\frac{2\sqrt{15}}{15}\right)^2 = \frac{4}{15} \quad \dots\dots (\text{オの答})$$

である.

したがって、 $\cos^2 \alpha$ 、 $\cos^2 \beta$  は 2 次方程式

$$t^2 - \frac{17}{15}t + \frac{4}{15} = 0$$

の解である. 解くと

$$\left(t - \frac{1}{3}\right)\left(t - \frac{4}{5}\right) = 0$$

$$\therefore t = \frac{1}{3}, \frac{4}{5}$$

条件③を用いると  $\cos^2 \alpha \geq \cos^2 \beta$  であるから

$$\cos^2 \alpha = \frac{4}{5}, \quad \cos^2 \beta = \frac{1}{3} \quad \dots\dots (\text{カ～ケの答})$$

である. よって、②も合わせると

$$(\cos \alpha, \cos \beta) = \left(\frac{2\sqrt{5}}{5}, -\frac{\sqrt{3}}{3}\right), \quad \left(-\frac{2\sqrt{5}}{5}, \frac{\sqrt{3}}{3}\right)$$

であり、さらに条件  $0 \leq \alpha \leq \pi$ ,  $0 \leq \beta \leq \pi$ ,  $\alpha < \beta$  から

$$\cos \alpha = \frac{2}{5} \sqrt{\frac{5}{5}}, \quad \cos \beta = \frac{-}{3} \sqrt{\frac{3}{3}} \quad \dots\dots (\text{コ～ソの答})$$

である.

← 平方することにより  
必要条件になる.

←  $\begin{cases} \alpha + \beta = p \\ \alpha\beta = q \end{cases}$   
⇔  
 $\alpha, \beta$  は  
 $t^2 - pt + q = 0$   
の解である.  
チェクリビ 52

← 十分であることが保  
証された.